

新入社員に  
教えよう!

# 洗車・コーティング施工のマナーとルール

4月は多くの企業が新入社員を迎え入れる時期です。社会人として1年生。不安やわからないことが多くあるのが当然です。今後さまざまな教育をしていく中で、まず私たちが積極的にやってみせることからスタート。基本的な業務を覚えてもらうことはもちろんですが、たくさんの「車のキレイ」に携わってもらい、1日も早くコーティング技術者として作業を一任できるスタッフになって欲しいものです。そのために、まず洗車・コーティング作業の基礎マナーとルールをいくつか書き出してみました。サービス業のマナーという方が正解かもしれません。

## ① 指輪・腕時計を外す



指輪や腕時計をしたまま作業をすると、塗装を傷つける恐れがあります。また、お客様へも悪い印象を与えます。

## ② ドアの開閉はタオルを添える



タオルを添えることで手アカや爪のひっかき傷を防ぎます。またお客様に「大切に扱ってくれているんだ」という印象を与えます。ボンネットを開閉の際も、ゆっくりと下ろしたらタオルを添えてそっと押しロックをかけます。

## ③ シートカバーを付ける



車の移動や内窓拭き作業などでシートに座る時は、必ずシートカバーを装着します。

## ④ 土足で上がらない



移動の際は運転席の足元にトレを敷く、ワンボックス車の後席に乗る際は靴を脱ぐなど、土足では上がらないようにします。

## ⑤ 汗拭き専用のタオルを持つ



夏場の室内清掃作業は、たくさん汗が出ます。車内に汗を垂らさないよう、汗拭き専用のタオル(車用とは色やサイズが違うもの)でこまめに汗を拭きます。

## ⑥ 落としたタオルは使わない



地面に落としたタオルは見た目はキレイでも、目に見えない細かな砂埃が付いていて、車に傷をつけることがあります。

## ⑦ 声を出す



「いらっしゃいませ」などの基本接客用語はもちろん、自分が担当した作業、例えば洗車前の窓確認であれば「窓確認OK」と、他のスタッフに作業が完了したことが伝わるように声を出します。

## ⑧ 誘導の際、正面・真後ろに立たない



万一ブレーキを踏み損ねてもすぐに逃げられるよう、斜め前や斜め後ろに立ち、大きな声と手振りで誘導します。

①～⑦については、新入社員に教える際、「お客様だったらどう思うか」を問いかけ、お客様目線で接客・施工することを身につけさせます。



## 被災地の「快洗ROII」は今…

東日本大震災から2年が経ちました。震災直後、当社は水から放射性物質を濾過し、除去する能力を持っている「快洗ROII」を飲料水用に改造し、放射能の不安があった福島県川俣町と飯舘村に13台設置し、無期限にお貸しする形で支援させていただきました。現在では13台中4台が計画的避難により保管状態となっていますが、残り9台は継続して使用されています。快洗ROIIの設置されている施設の近況をお伝えします。

### 特別養護老人ホーム「飯舘ホーム」(飯舘村)

当初、飯舘ホームへの設置は1機でしたが、現在は他の地区の機器を移設し、2機に増やして施設の飲用水用としてフル活用されています。機器のメンテナンスの作業を行っている際も、利用者の方から「いつも活用させてもらっているんです」と声をかけていただきました。作業後、飯舘ホーム所長・担当スタッフの方より「飲用水は100%純水機を使用させていただいているので、本当に重宝します」と、とても嬉しいお言葉もいただきました。これからも、安心してご使用いただけるように、定期的にメンテナンスをさせていただきます。快洗ROIIの活躍ぶりを改めて実感し、本当に嬉しかったです。

(仙台営業所・機械担当/澤田章良)



飯舘ホームの快洗ROII



飯舘村の風景